

無溶接締付けも可能！

現場に応じてセパ背面溶接&鉄筋セパ重ね締付けどちらでも使用できるD10-D19用鉄筋クランプ

# 鉄筋クランプ 1019



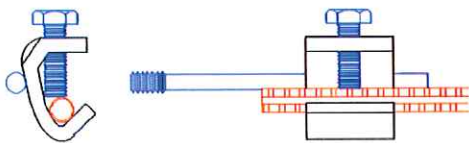
## ◆用途範囲

基礎ベース・浮かし型枠・段差型枠など、自在なセパレーター引きを実現します。

- 入数: 1ケース100ヶ入り(M10\*30 17平 生地ボルト付)
- ボルト組梱包 または パラ梱包 からお選び下さい

## ◆取付例

①背面溶接(セパレーター背面溶接後、異形鉄筋ボルト締め)

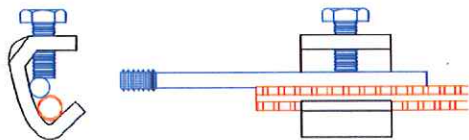


※締付けトルク: 20 [N・m]

※手 順 : 《溶接後→締め付け》

組合せ	許容荷重(引張)
D10	2.5kN (約250kgf)
D13	
D16	
D19	

②異形鉄筋&セパレーター重ね(異形鉄筋(下)・セパレーター(上)ボルト締め)



※締付けトルク: 25 [N・m]

※必ず鉄筋を下にしてご使用ください

組合せ	許容荷重(引張)
D 10 & セパレーター(W 5/16 ・ W 3/8 )	1.3kN (約130kgf)
D 13 & セパレーター(W 5/16 ・ W 3/8 )	
D 16 & セパレーター(W 5/16 ・ W 3/8 )	

(注)D19&セパレーターは使用できません。

## ▼使用方法

下記の用法を守って、正しくご使用下さい。

- 上記①の時は20 [N・m](200kgf・cm)、②の時は25 [N・m](250kgf・cm)の締付けトルクでセットして下さい。
- 上図のように被クランプ物が金物内面に平行かつ接触面積が最大となるようにセットして下さい。
- 上記①の時は金物本体にセパレーターを溶接後、締め付けを行って下さい。
- 上記②の時はボルトが鉄筋の横リブと横リブの間になるようにセットして下さい。

## ▲注意事項

下記何れかに該当する場合はただちに使用を中止して下さい。強度が著しく低下し事故等の原因になる可能性があります。

- 一度使用したもの
- 指定の締付けトルクがかからないもの
- 締付時、金物本体が著しく変形してしまったもの
- 締付時、ボルトの先端が完全に潰れてしまったもの



## 株式会社 佐藤ケミカル

本 社

〒270-0132 千葉県流山市駒木 631 番地

TEL 04-7152-8911(代) FAX ☎フリーダイヤル 0120-89-1955

E-mail : [info@satochemical.co.jp](mailto:info@satochemical.co.jp) <http://www.satochemical.co.jp/>

北海道支店

〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂 5 条 3 丁目 4 番地

TEL 011-789-8911 FAX 011-789-9002